

才甲二期生会歌

- 一 乾坤を輝きし鳳雛息吹く前川京
まき雲の豪気や其く血潮はなまじ殉国の
熱き思いに勇むかな
- 四十二期の健史らの名もや壯なる誠
- 二 愛憎まの言の下新緑映ゆる高良台
別と健との信後には四百の心集まりて
友誼の絆 結ぶかな
- 四十二期の健史らの聞えや散たるとの誓い
- 三 東風雨波吹き荒れて移るは雲と人と世や
混迷の園破るく散るは鉄の銃もて
先駆の旗を掲ぐ哉
- 甲二期の健史らの見よ名漂はるゝの力
- 四 試練の月日重なりつ今栄光の時来り
いざ胸はたかむ西条 任務は重く統平の身の
聖き使命に捧ぐ哉
- 甲二期の健史らの往きや洋をこよみ出